

証券コード：8061

西華産業株式会社

第98期 第2四半期 **株主通信**

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



写真：当社創業の地 福岡県北九州市門司【旧大阪商船ビル】



ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第98期(第2四半期)株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員 

グループポリシー *Group Policy*

私たち西華産業グループは、お互いが連携し、高め合い、公明正大な企業活動を通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

Strive for excellence and foster a sustainable society with corporate integrity.

グループ行動規範 *Code of Conduct*

一人ひとりが法令を遵守すると共に社会から信頼されるよう倫理観を持って行動します。

Comply with laws and act with ethical standards to gain the trust of society.

グループミッション *Group Mission*

グループ全体で豊かな社会を実現します。

Create a fulfilling society together.

私たち西華産業グループは、日本および海外13カ国、約100拠点を有する企業グループとなりました。

社会からこれまで以上の高い評価を得るには、利益を追求するだけでなく、グループの組織活動が社会に与える影響に責任を持ち持続可能な未来構築に貢献する企業グループでなければなりません。

社会貢献を継続的に行っている企業は、顧客からの信頼が厚くなり、株主・投資家からも信頼され、更に社員が「自分の仕事が社会貢献に繋がっている」と実感でき、働くモチベーションを高めることができると考えます。

社会貢献の意識は非常に良い循環をもたらし、グループの「骨太な組織」作りにつながり、西華産業グループの持続的な発展に結びつくと考えています。

このような考えの基に、企業グループとして大切にしていきたい価値観として「グループポリシー」と取るべき行動の基本として「グループ行動規範」を策定致しました。

	2020年3月期実績	2021年3月期第2四半期実績	2021年3月期予想
売上高	1,406 億円	709 億円	1,350 億円
営業利益	28.0 億円	9.5 億円	24.0 億円
経常利益	31.2 億円	10.9 億円	27.0 億円
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	△12.6 億円	5.3 億円	16.5 億円

本年4月より当社グループは新たな中期経営計画「Re-SEIKA 2023」を策定し、計画の完遂に向けてグループ社員一丸となり取り組んでおります。基本方針の「変革と挑戦。強く価値ある会社へ」に基づき、基本戦略である「グループ収益の拡大」「収益基盤の強化」「新たな収益源の開拓」「経営基盤の強化」を推進してまいります。

Q まずは2021年3月期(第98期)第2四半期の業績についてお聞かせください。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はどうか。

A 当第2四半期における当社グループの業績は、売上高は709億35百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は9億53百万円(同10.9%増)、経常利益は10億98百万円(同11.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億30百万円(同12.7%増)となりました。

コロナウイルス感染症拡大により業績への影響を懸念致しましたが、当上期は電力会社向けに発電設備の引き渡しと合繊・プラント向け機械設備商談が前期並みに推移し、また関係会社の業績も比較的堅調に推移した結果、売上高、利益とも前年同期を上回る実績となりました。

受注においては、マスク製造装置や飛沫分析装置の受注など思いもかけない商談が飛び込んできた一方、コロナ感染リスクを低減するため定期点検工事が延期されたり、消費需要の減少により飲料向け設備投資計画が中止されるなど一部影響が出始めており、全体的には前期を下回る受注実績となりました。

Q 2021年3月期の見通しと中期経営計画「Re-SEIKA2023」の推進状況と今後の戦略についてお聞かせください。

A 通期の連結業績の見通しは、売上高1,350億円(前期比4.0%減)、営業利益24億円(同14.6%減)、経常利益27億円(同13.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益16億50百万円と期首の予想に変わりはありません。各事業ともコロナによる影響は受けるものの、社会インフラ分野で営業活動をする電力事業、工用水中ポンプ販売を手掛けるTsurumi (Europe) GmbHグループや産業用各種バルブ製造販売の日本ダイヤバルブ(株)の業績が上期同様に比較的堅調に推移すると予想しており、期首予想の当期純利益16億50百万円は確保できると考えております。

本年4月より開始した新中計経営計画「Re-SEIKA 2023」ですが、2017年4月策定した長期経営ビジョン「10年後の西華産業グループ像」の第2ステップにあたります。第1ステップ(前中期経営計画「CS2020」)で推進してきた事業規模拡大への基礎固めを引き継ぎつつ、新たな取り組みを収益に寄与させ、長期経営ビジョン達成のための足掛かりとしてまいります。

中期経営計画「Re-SEIKA 2023」策定にあたっては、近年同業他社に比べ収益力や事業展開力で後塵を拝していることから、収益回復を念頭に①グループ収益の拡大、②収益基盤の強化、③新たな収益源の開拓を基本戦略と致しました。コロナ禍により計画推進への影響が懸念されましたが、Web会議システムの活用や経営陣と若手社員の意見交換を通じ、社員全体への浸透に努めております。また、中期経営計画に3年後の目標に向けた各部門の計画についても所属員全体で議論し、全員参加型で推進してまいります。

なお、基本戦略については、①グループ収益の拡大では「ライフサイエンス分野」、「再生可能エネルギー分野」および「モビリティ分野」でプロジェクトを立ち上げ、当社執行役員をチームリーダーとし、当社および関係会社のメンバーで開始しました。また、その他にも「グループ間での人材活用プロジェクト」、「社会貢献プロジェクト」などを立ち上げ展開しております。以上のプロジェクトを通じて、グループ経営を推進し、中期経営計画「Re-SEIKA 2023」で目指す「変革と挑戦」に繋げてまいります。

Q 国内外の関係会社の状況についても、お聞かせください。

A 現在、国内10社、海外17社を擁す企業グループとなり、関係会社の業績を向上させていくことが中期経営計画で掲げたように成長の鍵であります。そのため各社単独での事業展開ではなく、比較的近いフィールドで事業を展開する各社が共通の課題を抽出し共有化して、各社の機能を有効に活用して共通の課題を解決していくことが業績の拡大に繋がると考えております。

国内の関係会社につきましては、日本ダイヤバルブ(株)や敷島機器(株)の業績はコロナ禍においても堅調に推移しております。また、前期業績不振であった西華デジタルイメージ(株)は構造改革に取り組んだ結果が表れ業績が改善してきております。

海外の関係会社については、Tsurumi (Europe) GmbHグループの公共工用水中ポンプ販売をはじめ、米国および東南アジア各国子会社の業績も堅調に推移する見込みです。

一方、Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.が低迷したことに加え、西暁貿易(上海)有限公司の業績回復には時間がかかる見込みであり、関係会社戦略本部が中心となって立て直しに注力しているところです。

事業ポートフォリオの最適化を進める中で、Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.は事業譲渡となりましたが、将来の成長に欠かすことができない事業投資については、今後とも推進してまいります。

Q このほどセイカダイヤエンジン株式会社を子会社化しましたが、どのような事業拡大が見込まれますか。

A この度、三菱重工グループの三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社(以下、MHJET)より船用エンジンの販売・サービス事業の譲受によりセイカダイヤエンジン株式会社(以下、SDE)を子会社化しました。

船用エンジン事業において、お客様である漁業者のニーズを取り込むきめ細かな営業活動により漁業市場の深耕を目指すMHJETの意向と長年に亘り培ってきた機械総合商社としての当社ノウハウが合致したことがSDE子会社化の背景です。また、営業内容も地域密着のきめ細かな営業展開という点で共通したものがありません。

SDEは西華産業グループでは最大の売上規模、従業員を抱える一大組織であり、親会社としてしっかりとその事業展開を後押ししてシナジーを創出してまいります。

また、MHJETは競争力のあるエンジンの開発を行っており、SDEは船用エンジンの拡販に加えて、洋上風車発電設備建設、商工船、養殖分野への関連商品の拡販にも注力しています。

Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 現在コロナ禍にあり様々な影響が想定されますが、業績が落ち込むことが無いように、考えられるあらゆる施策を持ってグループの運営を行い、中期経営計画で掲げた数値目標(2023年3月期 連結営業利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円)の達成に向けて邁進してまいります。また、収益向上に加えてESG、サステナビリティなど社会貢献の面にも目を配りながら企業価値向上を目指します。

質の高いサービスの提供を通じて安定した収益を上げ、その利益で株主の皆様をはじめ全てのステークホルダーに報い、安心してもらえる会社「強く価値ある会社」に変貌させてまいりますので今後ともご支援賜りたくお願い申し上げます。

電力事業

電力会社や共同火力向けに、ボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売しております。原子力発電所向けにセキュリティ設備や消火設備などを販売しております。



電力プラント

2021年3月期第2四半期の概況

売上高

31,263百万円

(前年同期比) +47.4%

セグメント利益

452百万円

(前年同期比) △37.4%

化学・エネルギー事業

化学会社、石油会社、製紙会社、鉄鋼会社、鉄鋼会社向けに発電設備やプロセス用製造設備を販売しております。



化学プラント

2021年3月期第2四半期の概況

売上高

12,396百万円

(前年同期比) △17.1%

セグメント利益

44百万円

(前年同期比) △39.6%

産業機械事業

新素材、繊維、フィルムやプラントエンジニアリングなど幅広い産業分野の顧客に対して、設備や機器を販売するほかメンテナンスも提供しております。

また、電気自動車向けのリチウムイオン電池用関連設備の販売も行っております。



リチウムイオン電池

2021年3月期第2四半期の概況

売上高

21,810百万円

(前年同期比) +3.8%

セグメント利益

600百万円

(前年同期比) +386.8%

グローバル事業

本事業は海外12か国、25拠点で事業展開中であり、西華グループとしての総合力を発揮し、国内外における産業界の発展に貢献しております。

欧州：工用水中ポンプの販売・レンタル事業、産業用ロボットの販売など

北米：日系自動車業界向け基板実装関連設備の販売など

アジア：化学・繊維その他一般産業向け機械設備、原材料の販売など



Tsurumi (Europe) GmbH
取扱製品：水中ポンプ

2021年3月期第2四半期の概況

売上高

5,463百万円

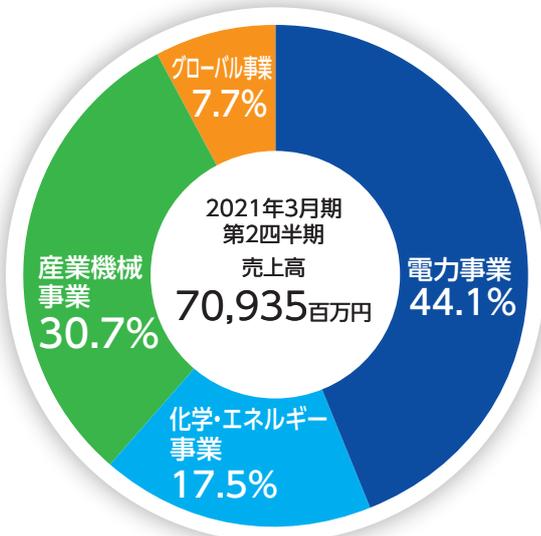
(前年同期比) △0.3%

セグメント利益

△117百万円

(前年同期はセグメント損失84百万円)

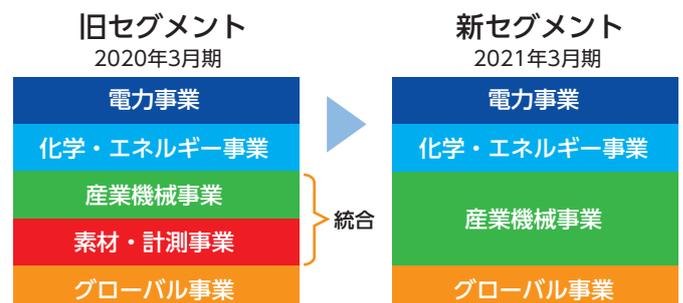
▼売上高構成



報告セグメントおよびセグメント利益の算出方法変更に関するお知らせ

当社は、2021年3月期より報告セグメントおよびセグメント利益の算出方法を以下のとおり変更することとしましたので、お知らせいたします。

2021年3月期より、経営資源の選択と集中を図り「産業機械事業」と「素材・計測事業」を統合し、「電力事業」「化学・エネルギー事業」「産業機械事業」「グローバル事業」の4セグメントに変更いたしました。また、セグメント利益の算出方法につきましては、従来、セグメント利益の合計額と営業利益の差異調整項目でありました「のれんの償却額」および「全社費用」を各セグメントへ合理的な基準に従って配分することといたしました。



船用エンジン販売・サービス事業を譲受 「セイカダイヤエンジン株式会社」として開始

当社は三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社の船用エンジン販売・サービス事業を三菱重工エンジンシステム株式会社より譲受し2020年10月1日より当社の子会社「セイカダイヤエンジン株式会社(以下SDE)」として事業を開始しました。

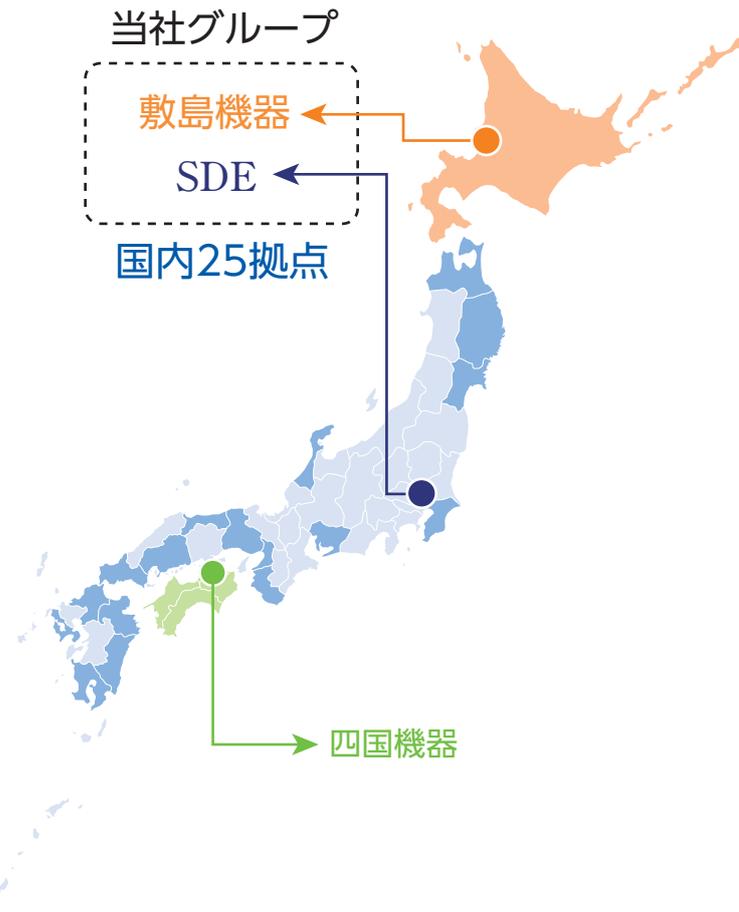
SDEは、当社グループにおいて売上規模が最大の子会社となるとともに、これまで子会社である敷島機器株式会社が北海道にて展開しておりました同事業を、本州と九州の同社25拠点、敷島機器株式会社(北海道)および四国機器株式会社(四国)を通じて国内総代理店として全国に展開することになりました。

当社は国内25拠点を構えるSDEが加わることで全国展開による事業の拡大が見込め、中期経営計画「Re-SEIKA2023」で掲げた「グループ収益の拡大」と「収益基盤の強化」への貢献が期待されます。



会社の概要

名 称	セイカダイヤエンジン株式会社(略称：SDE)
所 在 地	東京都新宿区北新宿1-1-19 ダイアフゲンビル8階
代 表 者	代表取締役社長 柴崎 亨
拠 点 数	国内25拠点
従業員数	156名
事業内容	国内船用エンジンの販売・サービス事業、 関連商品の販売他
資 本 金	96,000千円(当社100%出資)
U R L	http://www.daiyaeng.co.jp



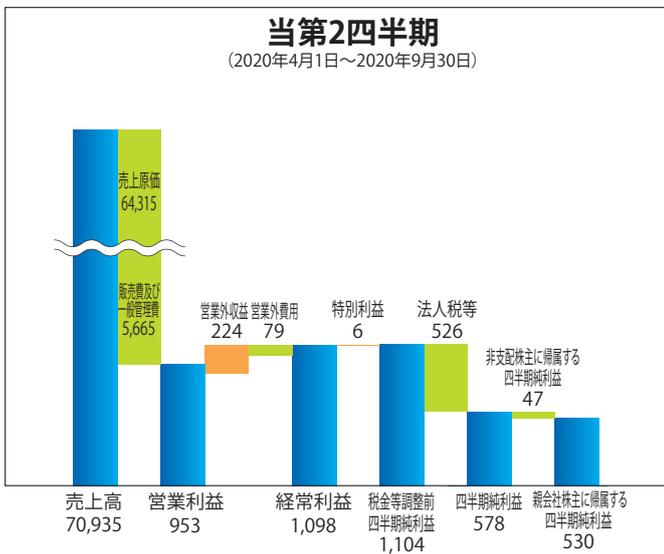
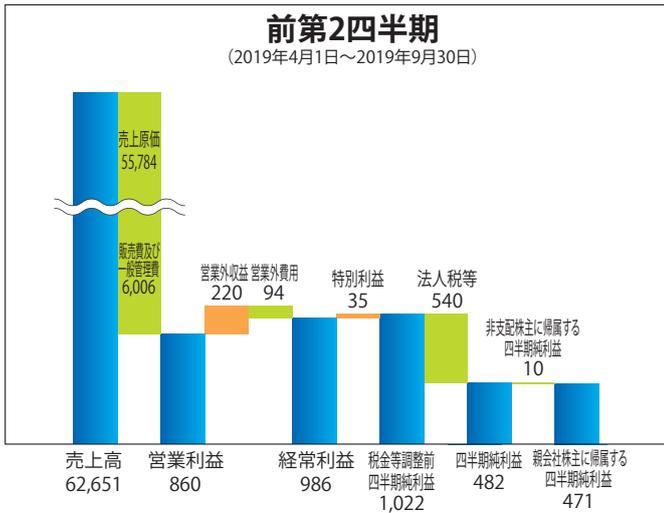
柴崎 亨 セイカダイヤエンジン株式会社代表取締役社長のコメント

「海洋を舞台に活躍する企業や人々」を支え続ける会社として、2020年10月1日に西華産業グループの一員である「セイカダイヤエンジン株式会社」は出航致しました。東西南北に大きく広がり豊かな海洋資源を有する日本列島を視野に入れた販売・サービス25拠点を擁し、長い間お客様に選ばれ信頼性の高い三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社製船用エンジンを中心にお客様にご満足いただける商品としごとを提供することで、どんな時でもお客様と繋がりを続けることを目指して参ります。



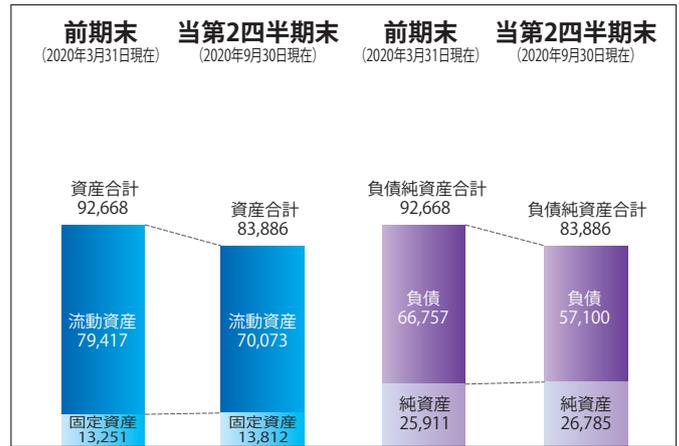
損益計算書より

(単位:百万円)



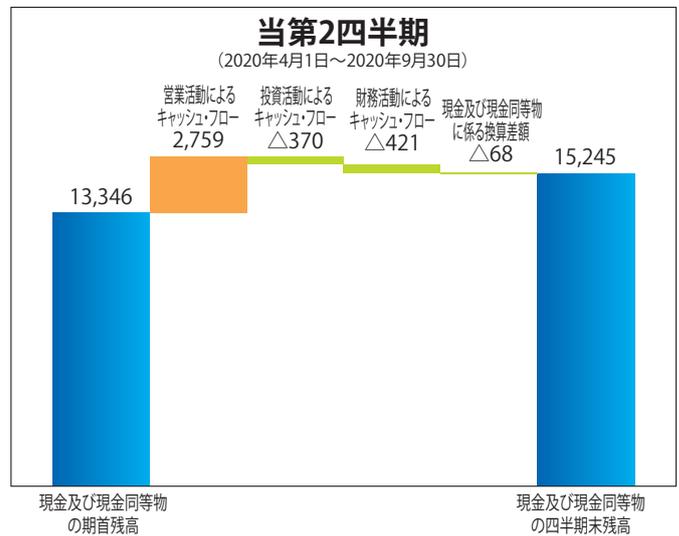
貸借対照表より

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



主要財務指標ハイライト

単位:百万円

	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	増減 (%)
資産合計	92,668	83,886	△ 9.5
流動資産	79,417	70,073	△ 11.8
固定資産	13,251	13,812	4.2
負債合計	66,757	57,100	△ 14.5
流動負債	62,141	52,450	△ 15.6
固定負債	4,616	4,650	0.7
純資産合計	25,911	26,785	3.4
負債純資産合計	92,668	83,886	△ 9.5

	前第2四半期 (2019年4月1日～2019年9月30日)	当第2四半期 (2020年4月1日～2020年9月30日)	増減 (%)
売上高	62,651	70,935	13.2
営業利益	860	953	10.8
経常利益	986	1,098	11.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	471	530	12.5

当社の概況 (2020年9月30日現在)

設立年月日 1947年(昭和22年)10月1日

資本金 67億28百万円

事業所 (国内) 本社：東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
 大阪支社：大阪市北区堂島浜一丁目4番4号
 支店等：札幌、室蘭、横浜、名古屋、敦賀、岡山、福山、東広島、広島、徳山、山口、四国、福岡、北九州、長崎、大分、延岡
 (海外) 支店：台北、ソウル、シンガポール
 駐在員事務所：ベトナム

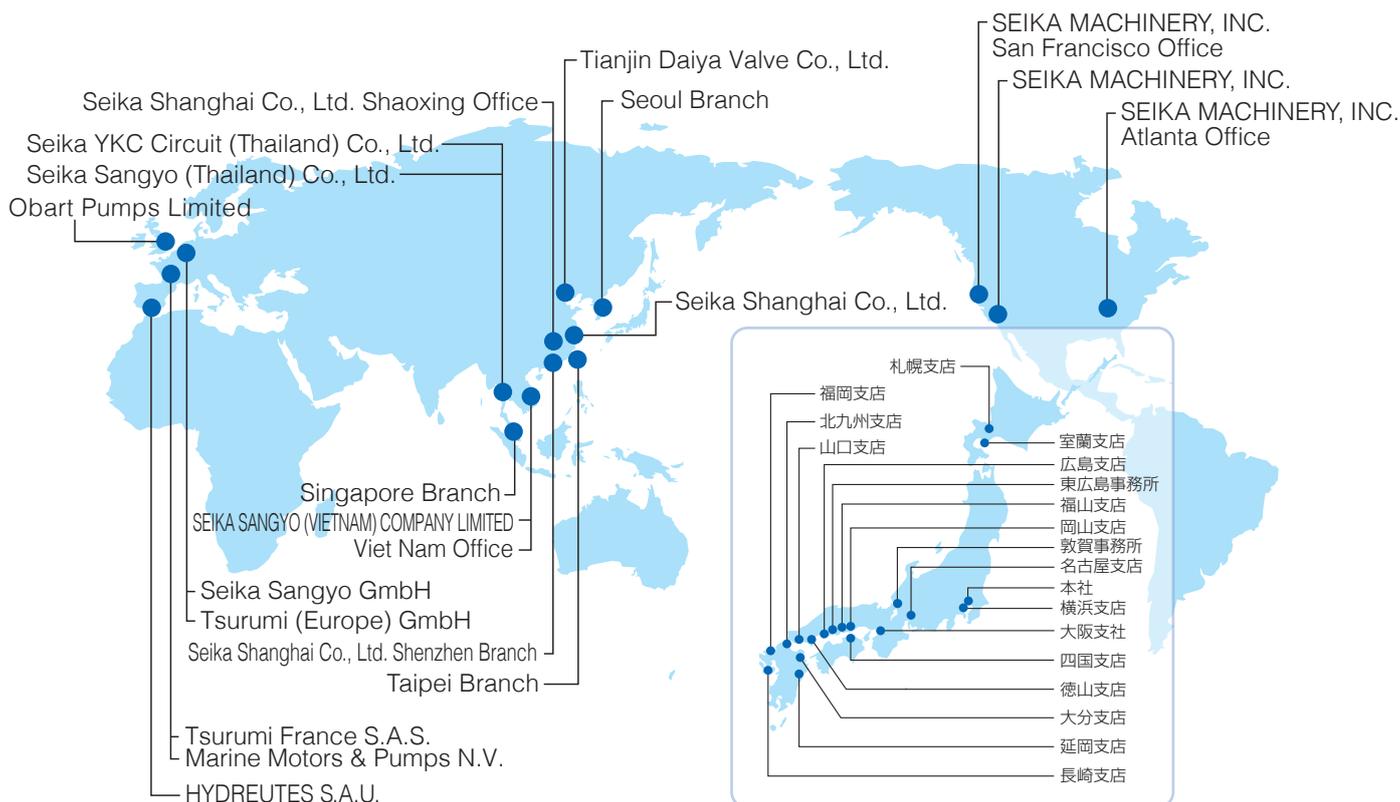
従業員数 987名(連結) 320名(単体)

主な子会社 (国内) 日本ダイヤバルブ株式会社
 株式会社竹本
 西華デジタルイメージ株式会社
 敷島機器株式会社

(海外) Seika Sangyo GmbH(ドイツ)
 Tsurumi (Europe) GmbH(ドイツ)
 Tsurumi France S.A.S.(フランス)
 HYDREUTES, S.A.U.(スペイン)
 Marine Motors & Pumps N.V.(ベルギー)
 Obart Pumps (Holdings) Limited(イギリス)
 Obart Pumps Limited(イギリス)
 SEIKA MACHINERY, INC.(アメリカ)
 西暉貿易(上海)有限公司(中国)
 天津泰雅閥門有限公司(中国)
 Seika YKC Circuit(Thailand) Co., Ltd.(タイ)
 Seika Sangyo(Thailand) Co., Ltd.(タイ)
 SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED(ベトナム)

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	櫻井 昭彦
取締役専務執行役員	山下 真佐明
取締役常務執行役員	高橋 正憲
取締役常務執行役員	川名 康正
取締役上席執行役員	後藤 基
取締役(社外取締役)	白井 裕子
取締役(社外取締役)	深尾 隆久
取締役(社外取締役)	宮田 清巳
監査役(常勤)	高橋 昌志
監査役(常勤)	阿部 正典
監査役(社外監査役)	毛野 泰孝
監査役(社外監査役)	中村 嘉彦
上席執行役員	福里 克彦
上席執行役員	横山 幸則
上席執行役員	増田 博久
上席執行役員	平山 龍彦
執行役員	高橋 紀行
執行役員	碓井 一俊
執行役員	長谷川 智昭
執行役員	尾崎 雅一



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.seika.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

◆お知らせ◆

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (3) 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

株式の状況



株式の状況 (2020年9月30日現在)

株式数および株主数

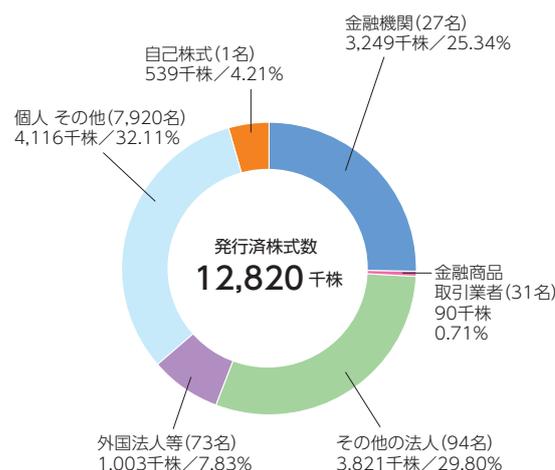
発行可能株式総数 37,705,800株
発行済株式の総数 12,280,989株
(自己株式539,661株を除く)
株主数 8,146名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱パワー株式会社	826	6.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	664	5.41
光通信株式会社	599	4.88
株式会社三菱UFJ銀行	400	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	359	2.92
株式会社山口銀行	352	2.87
日機装株式会社	318	2.59
三菱電機株式会社	286	2.33
株式会社鶴見製作所	267	2.17
株式会社三井住友銀行	234	1.91

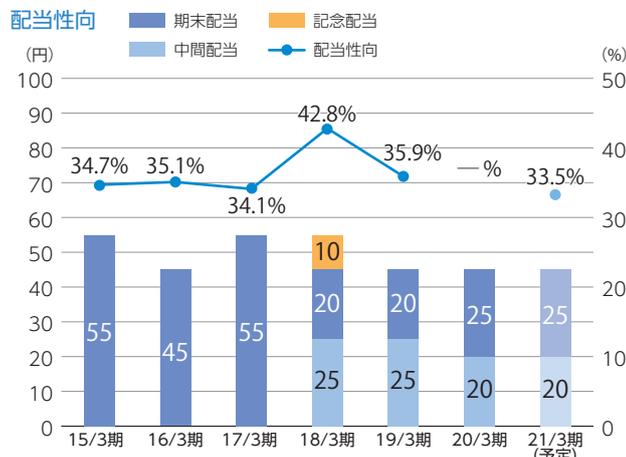
(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。
③2019年12月6日付で公表の総覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、フィデリティ投資株式会社が2019年11月29日現在で581,900株(保有割合4.54%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。
②発行済株式数には自己株式543千株を含んでおります。

配当性向



株価および出来高の推移



西華産業株式会社
SEIKA CORPORATION

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1(新東京ビル)
Tel 03-5221-7101 URL <http://www.seika.com/>

<http://www.seika.com/>

西華産業

検索